

若者起業家育成支援企画・運営業務 仕様書

この仕様書に示す内容は、業務の基本的事項を示すものであり、契約に際しては、提案の内容を踏まえて仕様を追記することとする。

1 委託業務名

若者起業家育成支援企画・運営業務

2 委託業務期間

令和7年 月 日から令和8年3月31日まで

3 委託料

11,583,000 円（消費税および地方消費税を含む）を上限とする。

4 委託業務の目的

県では、令和5年5月に「ふくいNEW経済ビジョン」を策定し、地域経済の持続的発展を通じた豊かさの向上や多様な価値観と自己実現が叶う環境づくりを目指すため、地域において、人材、物資、技術といった経営資源を循環させる「福井型エコシステム」を推進しており、このシステムを今後も持続・発展させていくためにも、県、支援機関、先輩起業家等が連携し、次世代を担う若手起業家の発掘と支援が必要である。

そこで、県内の若者が持つ自由な発想や能力を活かしたビジネスアイデアの具体化を支援するプログラムの実施を通して、若手起業家を育成することで、若手スタートアップ（大きく成長する可能性を持つ起業家）や、福井ベンチャーピッチへの登壇者創出を図る。

また、育成した起業家が、県内公的支援機関等の各種支援をスムーズに利用できるスキームを構築し、起業後の成長を支援すること。

5 参加対象者

39歳以下または地域おこし協力隊で、福井県在住・出身の者

6 委託業務の内容

【1】以下（1）～（5）のプログラムで構成すること

（1）経営者体験（インターンシップ）の企画運営 [起業の機運醸成]

- ・経営者の持つ経営感を体験でき、起業後がイメージできる経営者体験（インターンシップ）を企画すること。
- ・開催は、対面の1回あたり半日（3～4時間程度）で完結する内容とし、5名×3回（計15人）を原則とすること。
- ・開催時期は原則令和7年10月～12月とすること。
- ・経営者体験を開催するにあたり、受入れを行う県内の先輩起業家を選定すること。
- ・開催場所は、先輩起業家の会社とすること。
- ・同一の参加者が複数回参加することは妨げない。

- ・起業アイデアの具現化を希望する者は「起業アイデア構想ワークショップ」に誘導し起業アイデアの具現化支援に繋げること。

(2) キャリア探求講座の企画運営 [起業の機運醸成]

- ・起業や地域貢献、働くことなどについて、起業家の視点や思考を学び、起業家マインドを身につけることができる講座を企画すること。
- ・1回あたり2時間以内で完結する内容とすること。
- ・令和7年9月～翌3月の期間で毎月1回程度開催すること。
- ・各回の参加人数は10名以上とすること。
- ・講座は原則対面で開催することとするが、オンライン開催（ただし2回まで）を妨げない。
- ・各回、異なる先輩起業家を招聘すること。
- ・開催場所は、原則越乃バレーのフリースペースとすること。
- ・起業アイデアの具現化を希望する者は「起業アイデア構想ワークショップ」に誘導し起業アイデアの具現化支援に繋げること。

(3) 起業アイデア構想ワークショップの企画運営 [事業アイデアの構想]

- ・参加者の漠然としたビジネスアイデアを具現化するワークショップを企画するとともに、具現化に至らない参加者に対しワークショップ参加後のフォローアップを実施すること。
- ・ワークショップとフォローアップを組み合わせ、合計30名程度を支援すること。
- ・ワークショップの開催時期は、原則令和7年10月～12月とすること。
- ・ワークショップは、1回あたり対面の半日（3～4時間程度）で完結する内容とし、3～5回程度の開催回数とすること。
- ・フォローアップはオンラインでの実施を可とする。
- ・フォローアップは1名あたり1時間程度を見込むものとすること。
- ・開催場所は、原則越乃バレーのフリースペースとすること。
- ・ビジネスアイデアを具現化できた者は「(5) 起業に向けた伴走支援」に誘導し起業までの支援に繋げること。
- ・具現化できなかった場合は、その理由を整理すること。

(4) イントレプレナーシップ教育研修の企画運営 [事業アイデアの構想]

- ・社内起業を行う人材を養成するための研修を実施（1回）すること。
- ・学生、若手社員、中堅社員（原則39歳以下）が参加可能な内容とすること。
- ・社内起業の実例が学べること。
- ・事業の種を見つけ成長させるまでの手法をワークショップ等で学べること。
- ・社内起業のポイントが学べること。
- ・事業計画の立案がワークショップ等で学べること。
- ・プロジェクトリーダーとして活躍できるような組織管理スキルが学べること。
- ・既存の研修サービスを活用して実施することも可能とする。

例) 「イントレプレナーシップ研修」 (株式会社リスキル：研修コード100702)

- ・開催場所は、原則越乃バレーのフリースペースとすること。

(5) 起業に向けた伴走支援の企画運営 [事業計画策定から起業までの支援]

次の①～⑤を要素とするプログラムを策定し、支援対象者の課題を把握しながら事業を遂行すること。参加者は具体的なビジネスアイデアを既に持つものとする。

①事業計画の策定に向けたプログラムの実施

- ・支援対象者の事業計画の策定に必要なプログラムを企画し、実施すること。
- ・プログラムは支援対象者が主体的に動く内容とし、必要に応じて自治体や関係機関との意見交換の場を提供すること
- ・先輩起業家と意見交換できる機会を盛り込み、支援対象者が具体的な起業ビジョンを持てるような仕組みを作ること。
- ・連続したプログラムにより支援対象者を支援する内容を想定しており、15名程度の参加が継続して見込まれるような設計を行うこと。
- ・支援対象者の8割以上が事業の具体的な計画を作成し、3割以上が事業年度もしくは事業後1年以内に起業していることを目標値とする（起業の方式は個人・法人を問わない）

②メンターによる相談実施

- ・支援対象者個別の事業計画の策定からビジネス化までを段階的に支援すること。
- ・支援対象者の起業を支援するうえで十分な起業/経営知識を有する者をメンターとして設置し、支援対象者に起業にかかる具体的かつ専門的な知識を提供でき、かつ支援対象者が気軽に相談できる体制を用意すること。

③県内外の起業家との交流

- ・県外の起業家や投資家、県外の若手スタートアップとの交流機会を設定するなど、支援対象者のモチベーション向上、視野拡大につながる内容を検討し、実施すること。

④開催場所

- ・原則、越乃バレーのフリースペースとする。ただし、内容に応じて支援対象者が不便なく参加できる会場を選定することを妨げない。

【2】業務設計

委託業務で実施するプログラムは、参加者が「起業機運の醸成」→「事業アイデアの構想」→「事業計画の策定」の流れで参加できる設計とし参加者が起業しやすい流れを作ること。

【3】以下は、委託業務共通

(1) 情報発信、広報

- ・募集にあたっては、広報用のバナー画像やチラシ等を作成し、SNS 等での周知を行うほか、受託者が持つネットワーク等を活用し、広く参加者を募り管理すること。
- ・本事業終了後に実施対象者の活動状況を把握できるよう、連絡先等を整理し、県と共有すること。
- ・参加者が能動的に取り組むことのできる内容とすること。
- ・参加者の参加費用は無料とする（懇親会等を開催する場合の実費や旅費は除く）

（２）独自提案事項（任意）

- ・本業務の目的を達成するために効果があると考え独自の実施方法がある場合は、企画提案することができる。ただし、実施に要する経費は、独自提案事項も含めて委託料の上限額の範囲内とする。

（３）越乃バレーの所在地

- ・越乃バレー 福井県福井市中央1-3-5 FUKUMACHI BLOCK 6F

7 スケジュールについて

スケジュールについては、受託者からの提案をもとに、県と協議の上確定することとするが、県としては開始までのスケジュールは以下を想定している。また、全体スケジュール（案）については、別紙「全体スケジュール（案）」を参照すること。

・スケジュール(案)

令和 7年 8 月中旬 契約締結
9 月上旬 事業開始

8 業務の報告

- ・業務の進捗、支援対象者の状況等について定期的に共有すること。
- ・業務終了後、速やかに全体の実施報告書を提出すること。
- ・その他、県の指示に応じて、関係資料を提出すること。

9 その他

- ・実施体制について、本仕様書に記載した業務を円滑かつ確実に遂行することが可能な体制を整備すること。また、業務全体を統率する業務遂行責任者をおくこと
- ・事業運営中に、参加者の声や要望に合わせて適宜企画内容の変更をすること。ただし変更の際は、あらかじめ県と協議のうえ、承認を得ること
- ・育成した起業家の事業後の成長支援は、受託者や受託者の関係する企業・投資家等に限ることなく、ふくい産業支援センターや県内外の企業・投資家等を紹介するなど広がりのあるものとする。